

1. はじめに

近年、少子高齢化社会に伴うコミュニティの希薄化に危機感が強まっている。そこで、地域内での世代を超えたコミュニティを活性化するために、昔からある回覧板に注目した。我々は、従来の回覧板の機能はそのまま残し、地域コミュニティの活性化を支援する機能を追加した電子回覧板「ComBo:CommunityBoard」を提案し開発した。ComBo は、個人の情報や発信する情報に応じて、動的に回覧経路を算出したり、自動でイベント開催を促したりすることが可能で、地域コミュニティの活性化を支援するものである。

2. システム概要

ComBo は、Android アプリケーションをインストールしたタブレット PC を直接回覧する電子回覧板で、地域コミュニティの活性化を支援するものである。すべてのユーザーが、地域や個人の様々な情報を発信することが可能であり、交流促進ネットワークおよび回覧補助機能によってコミュニティの活性化を支援することができる(図 1)。以下では、それらの仕組みと、ComBo の主な機能について述べる。

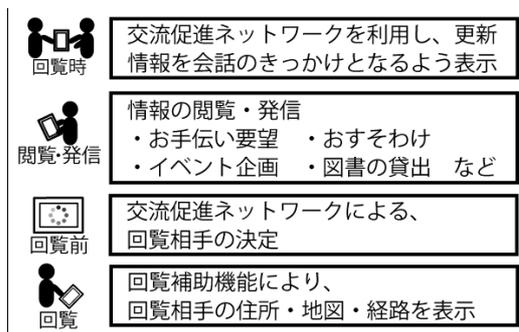


図 1 回覧の流れ

2.1 交流促進ネットワーク

交流促進ネットワークは、ユーザーの趣味・各種機能の使用状況などを考慮してベイジアンネットワーク(BN)を構築し、確率推論によって会話が生まれやすい回覧相手を決定する。BN は回覧の度に更新され、回覧

相手に ComBo を渡すときに表示される内容の選定や、趣味等が共通する人たちにイベント開催を促したりするときの情報としても活用される。

2.2 回覧補助機能

回覧相手が決定すると、登録された住所データをもとに、回覧相手への地図や経路と、自分の現在地が ComBo に表示される。ComBo を受け渡す際には、2 人の関係性を考慮し、ComBo に発信された情報の中から、会話のきっかけとして適切な内容を優先して表示させる(図 2)。この表示内容の選択も、交流促進ネットワークを用いて実現している。

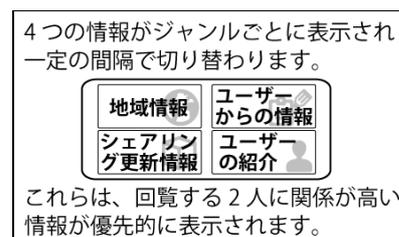


図 2 回覧時のページ

2.3 ComBo の主な機能

すべてのユーザーが、アイデアの募集・お手伝いの要望・図書などのシェアリング情報・不要なものやおすそ分け情報など、様々な情報を発信することができる。情報発信は ComBo 付属のカメラを使って行うので、誰でも気軽に情報発信が行える。また、これらの機能の使用履歴は、交流促進ネットワークで活用され、回覧時の会話のきっかけへとつながる。

3. まとめ

ComBo は、地域の情報の伝達をきっかけとしてコミュニティを作ることを最大の目的としている。直接会わなければならない不便さが、地域コミュニティ活性化の要であり、その世代を超えた繋がりには、少子高齢化社会に対し間違いなく明るくサポートできると我々は確信している。